

令和6年度 第1回帯広市図書館協議会 議事概要

1 日時 令和6年5月16日(木) 18:30～19:45

2 会場 帯広市図書館 3階 会議室

3 出席者

委員 岩間委員、鴨田委員、久保田委員、高橋委員、西田委員、吉田委員、ロメロ委員(以上7名)

事務局 村木生涯学習部長、永田図書館長、大林図書館副館長、中村図書係長、山下係員(以上5名)

4 会議次第

(1) 任命状交付

(2) 生涯学習部長挨拶

(3) 会長・副会長の選出

互選により、会長にロメロ委員、副会長に岩間委員が選出され承認された。

(4) 議事

①令和5年度事業報告

②令和6年度予算・事業概要について

③第五期帯広市子どもの読書活動推進計画の策定について

④その他

(5) 閉会

5 議事要旨

①令和5年度事業報告 <事務局より説明>

【委員】

特に意見等なし

②令和6年度予算・事業概要について <事務局より説明>

【委員】

(質問) 去年はコロナの制約が無くなり、かなり自由になったと思うが、このことによって予算面でなにか変わることはあるか。

【事務局】

(回答) コロナを理由とした予算面の制約はなかったため、特に変更はない。

【委員】

本を買うお金がこの予算で済んでいるのだと思った。もっと購入しても良いのでは。

【委員】

改めていろいろな事業をしているのだと思った。学校ではタブレットの普及などで学習環境が変わり、簡単に調べものもできるようになった。それによって学校図書館の利用も減ったため、できれば本の利用を増やしたいと考えている。本を読むことが好きな子もあり、本をあまり読まない子と二極化している。今年度から夏休みが長くなるが、休み中に本に触れる機会を増やせるようなイベントや取り組みが充実するとよい。

【委員】

最近の若者が情報を得るうえで、自分から調べるのではなく SNS など流れてくる情報を受け止めるようになってきている。

【委員】

どうしても情報を得るという点では簡単な方に流れて行ってしまう。機械とはうまく付き合うしかない。図書館の役割は大きい。

【委員】

文章を書いてもらった際に、本を読んでいる人とそうでない人の、表現の差が激しい。きちんと書けている人は、本が好きな場合が多い。読書の啓発をもっとしたい。

③第五期帯広市子どもの読書活動推進計画の策定について <事務局より説明>

【委員】

文章力は、読むからこそ書けるということが非常にある。

図書館のおはなし会に参加させてもらうが、このように学校と図書館とのつながりを作っていただけることはありがたい。練習しようとの話も出ており、成長の機会となる。

【委員】

情報リテラシー能力をどのように見つけるかが課題。子どもの読書活動推進計画にどのように入れ込めるか、考える必要があるのではないか。

【委員】

チャット GPT の文章を見抜くことが難しくなっている。倫理的な課題がある。日本語のチェックをするなど、道具として活用することはよい。

【委員】

話すことが苦手な特性をもつ人でも自分の思いは文章で書ける、そのような人もいるよ

うだ。

【委員】

技術の進展には良い面も悪い面もある。AI プログラムを作る際に、どういうことをしてはいけないという規制をかける動きはあるようだ。

【委員】

昔は、学校では図書利用者カードで貸し出しており、たくさん本を読んだことが誇らしかった。

他の自治体で通帳に自分が読んだ本を載せるという取り組みがあったが、自身が読んだ本の記録がわかるようにして、動機付けや、子どもたちが楽しめるような取り組みがあったらよいのではないか。

【委員】

図書貸し出しの履歴は、知られたくないプライベートな内容であり、自校では誰が何を読んだか、担任も知りえないものとなっている。

④その他

【事務局より説明】

昨年 12 月に図書館システムの更新をしており、その際、利用者カードの有効期限を設定することとした。これ以前は住所や氏名、連絡先が登録されたときの状態のまま更新されず、利用者の情報が古いままであったが、他の自治体でも更新の仕組みがあり、市でも 6 月から順次、有効期限の更新手続きを行う。

【委員】

社会全体がデジタル化する流れになっており、そのことで利便性が増すこともあるが、反対に障害者が情報にアクセスしたり利用したりすることが難しくなる傾向にある。ATM のタッチパネルなど、視覚障害者が困る。ボタンの凹凸があればわかりやすいのに。特に図書館は皆が情報を求めてくる場であるため、情報を得やすい場にするためにデジタル化だけでなく情報を得やすいように配慮もすべき。

【委員】

帯広市ではウェブ上で在架の本の予約まではできない。小さい子と一緒に図書館へ行っても、行ったらもう本がなく残念な思いをすることがあり得る。在架の予約は司書に手間もかかるだろうが、デジタルでも在架の本が予約できるようになるとよい。

<閉会>